

逆境に立ち向かう ～ 人のありがたみ ～

2024年7月18日は、新渡戸稲造記念センターから東京女子大学に向かう。共に、新渡戸稲造(1862～1933)との関係が深い。新渡戸稲造は、教育者・思想家で、農業経済学・農学の研究も行っていた。国際連盟事務次長も務め、著書 Bushido: The Soul of Japan (『武士道』) は、流麗な英文で書かれ、長年読み続けられている。五千円券の肖像としても知られる。

【新渡戸稲造→樋口一葉(1872- 1896) →津田梅子(1864—1929)】は五千円券の流れである。女子教育に 大いなる理解を示した新渡戸稲造(東京女子大学 初代学長)が、河井道(1877-1953; 恵泉女学園 創立者)、津田梅子(女子英學塾 創立者)、安井てつ(1870-1945; 東京女子大学 第2代学長)を 援護した三人に共通するのは『洗練された自尊心の人格像』である! まさに、『種を蒔く人になりなさい』の実践である!

『新渡戸稲造 ～ 壁を破る言葉 ～ 逆境に 立ち向かう者へ 40のメッセージ』(2023年10月5日 三笠書房 発行)(画像)は、逆境でも希望を見出す『新渡戸稲造の名言』を『生きづらさを感じている人たち』へ送るものである。

【本書は、名言の数々を紐解き、いま『逆境』にあえぐ人たちを勇気付けるものにしていく一冊。著者は『がん哲学外来』を主宰して、がん患者の人たちの『失望・絶望』を癒し、明日に向かう希望を与え続けている樋野興夫氏。『がん哲学外来』で患者さんの心に 寄り添うためにかかる言葉の中でも、新渡戸の言葉に込められた意味を語ると、患者さんの目がパッと明るく輝くという。そうした新渡戸稲造の名言の数々を抜きだし、ここを癒す『院外処方箋』としていく。】と紹介されている。

- ・人生には浮き沈みがつきものである
- ・誰にも「此处一番」の頑張りどころがある
- ・もっとも勇気ある者は もっとも心優しい者であり、愛ある者は勇敢である
- ・人のありがたみこそが、人間における最高の治療薬
- ・最も必要なことは、常に志を忘れないよう心にかけて記憶することである

40のメッセージ

立ち向かう者へ

逆境に

壁も破る言葉



新渡戸稲造

Okio Hino

樋野興夫

順天堂大学名誉教授
新渡戸稲造記念センター長
恵泉女学園理事長

「天をうらむな」
「悲哀はあなたを強くする」
「それでも笑うことだ」

没後90年——いまこそ知りたい「希望の言葉」

「がん哲学」提唱者の医師であり、
新渡戸稲造研究の第一人者でもある著者が厳選

三笠書房